

令和 2 年度第 2 2 回庁議提案 審議・報告・その他

提出日：令和 3 年 3 月 2 日

担当部・課：教育委員会学校管理課〔内線 5 0 3 9〕

① 件 名
石巻市学校施設整備保全計画の策定について
② 施策等を必要とする背景及び目的（理由）
<p>【背景】</p> <p>国において、平成 2 5 年 1 1 月に「インフラ長寿命化基本計画」が策定され、平成 2 6 年 4 月に地方公共団体に対して「公共施設等総合管理計画」の策定要請があり、本市では平成 2 8 年 3 月に策定した「石巻市公共施設等総合管理計画」に基づく個別施設計画として、平成 3 0 年度に教育委員会内に検討委員会を設置して検討を進め、今年度計画案をまとめた。</p> <p>本市の学校施設は、昭和 4 0 年代から 5 0 年代に建築され築年数が 3 0 年以上経過しているものが 6 割以上を占めており、老朽化が進んでいる。これらの学校施設については、今後、一斉に耐用年数を迎え、多額の更新費用が見込まれることから、トータルコストの縮減及び予算の平準化を図る必要がある。</p> <p>【目的】</p> <p>学校施設に求められる機能の充実を図るとともに、長寿命化や予防保全型の改修方針に転換することにより、限られた財源の中で学校施設の維持管理・修繕・更新を適切に実施し、トータルコストの縮減・予算の平準化の実現を図る。</p>
③ 根拠法令及び総合計画又は個別計画との整合性
<p>【根拠法令】</p> <p>【〔総合計画との整合性 総合計画の位置付け：有・無〕 又は 〔個別計画との整合性〕】</p> <p>第 2 章 個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち</p> <p>第 1 節 「生きる力」を持つ子どもたちを育成する</p> <p>3 充実した教育を行える環境をつくる</p>
④ 提案に至るまでの経過（市民参加の有無とその内容を含む。）
<p>平成 2 5 年 1 1 月 インフラ長寿命化基本計画策定</p> <p>平成 2 7 年 3 月 文科省インフラ長寿命化計画（行動計画）策定</p> <p>平成 2 8 年 3 月 石巻市公共施設等総合管理計画策定</p> <p>平成 3 0 年 7 月 石巻市学校施設整備保全計画策定検討委員会設置（教育委員会内組織）</p> <p>令和 元年 1 0 月 保全計画策定業務委託の締結</p> <p>令和 2 年 6 月 市議会環境教育委員会で中間報告</p> <p>令和 3 年 2 月 本計画（案）について関係部協議</p> <p>令和 3 年石巻市教育委員会第 2 回定例会で審議</p>
⑤ 主な内容
<p>文科省で作成した「学校施設の長寿命化計画策定に係る手引き」に示されている考え方や、計画に盛り込むべきとされている内容に準拠し、「石巻市学校施設整備保全計画」を策定する。</p> <p>【計画概要】</p> <p>1 計画の構成</p> <p>第 1 章 学校施設整備保全計画の背景・目的</p> <p>第 2 章 学校施設の目指すべき姿</p> <p>第 3 章 学校施設の実態</p> <p>第 4 章 学校施設整備の基本方針</p> <p>第 5 章 全体計画</p> <p>第 6 章 整備年次計画</p> <p>第 7 章 整備保全計画の継続的運用方針</p>

2 施設整備優先順位付けの考え方

建物ごとに劣化度合いを点数化した「優先順位点数」を算出し、点数の低い建物を優先して整備するものとする。

※「優先順位点数」(200点満点) = 「築年度点数」 + 「健全度点数」

※築年度点数：建物の築年数を相対的に評価した点数

※健全度点数：目視で確認できる建材や設備機器等の劣化度合いの評価点数

※詳細は別紙のとおり

⑥ 実施した場合の影響・効果（財源措置及び複数年のコスト計算を含む。）

【影響・効果】

長寿命化や予防保全型の改修方針に転換を図った場合、従来の改築中心の整備を行った場合と比較し、40年間で総額約496億円、年平均で約12.5億円の経費削減が図られると見込まれる。

⑦ 他の自治体の政策との比較検討

【県内自治体の状況】

策定済み自治体（市）：岩沼市、東松島市、大崎市

※他の自治体についても令和2年度中に策定予定。

⑧ 今後の予定及び施行予定年月日

令和3年 3月 市議会環境教育委員会で報告

⑨ その他